

神奈川県立平塚ろう学校 令和6年度第2回学校運営協議会 開催報告

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	神奈川県立平塚ろう学校における第2回学校運営協議会
開催期日	令和6年10月31日(木)
開催場所	神奈川県立平塚ろう学校 会議室
出席者	神奈川県立平塚ろう学校 学校運営協議会委員 10名
次回開催予定日	令和7年2月
問合せ先	平塚ろう学校 副校長 吉田 電話 0463-32-0913 FAX 0463-32-1646 電子メール hirarou-sd@pen-kanagawa.ed.jp
議題	1 授業見学 2 中間報告について 3 切れ目ない支援部会について 4 その他(質疑・意見・感想等)
審議(会議)経過	1 授業見学 2グループに分かれて見学を実施 2 中間評価について 特になし 3 <u>支援連携 G.Lよりパワーポイントと資料により報告</u> ・主に乳幼児相談の取組について紹介 ・相談実績は、0歳児を9名に修正して合計29名である ・相談数は増えている ・今年度の新たな取組として、7月に平塚盲学校乳幼児相談担当との連絡会の機会を設けた事と、相模原中央支援学校との連絡会を復活したことについて報告 [質疑応答] Q.(委員長):乳幼児相談のエリアはどのようになっているか →A.(グループリーダー(G.L)): 学区とは異なる考え方をしており、全県を対象としているが、相談後の進路先等を考慮し住まいの近くで相談出来るよう、相模原中央支援学校と調整して行っている Q.(委員長):個別相談の具体例で紹介できる事があればお願いしたい →A.(G.L):0歳児はこの先の不安を抱えているので、障害に関わらず子育ての関わり方等について支援している

	<p>Q. (委員長): グループ相談とはどのようなものか →A. (G.L): 年齢ごとに集まったグループで活動している</p> <p>Q. (委員長): 平塚盲学校との連絡会の中で協力できることはどのようなことがあるか →A. (G.L): 乳幼児相談は必要な人に確実に伝わるのが大切であり、そのため、相談先としてのアピールを一緒にする、2校でお互いを紹介し合う等が出来るのではないかと考えている</p> <p>4 その他(質疑・意見・感想等) 自由協議</p> <p>【委員】医学の発達(人工内耳等)もあり、ろう学校だけが進路先ではない状況で、乳幼児相談後に地域の学校に通う子供は増えているのか →A. (G,L): 増えている印象である 理由として、乳幼児相談により、その先の進路先(幼稚園等)に様々な情報提供やアドバイスができるというメリットが挙げられる</p> <p>【委員】手話マルの活動をしており、学校と同じように乳幼児の相談も受けている 学校と繋がることができればさらに発展していくと思う</p> <p>【委員】平ろう祭でベルマーレによる販売があり、外で買い物する体験ができる環境が持てて良かった 作業所等の外部・地域と繋がれて良かった PTA のバザーも例年より売上げが良かった→100周年で活用したい 縦の繋がりのある行事(校庭での運動会等)が復活し、昨年までの反省が生かされていた</p> <p>【委員】高浜高校の手話コミュニケーションに協力している 様々な交流を今後も続けていきたい</p> <p>【委員】デフサップ大会を日本初で開催した。平塚漁港で開催し 250名程の参加あり大成功であった 来年は国際大会となる予定で、ろう学校の100周年行事とも絡めていきたい 学校のプールでもできるので、子供達には様々な体験をして欲しい プロのバスケットチームの湘南シーサイドも支援学校と活動をしているので、部活動が難しくなっている昨今、ぜひ活用して欲しい</p> <p>【委員】(学校見学について)小人数の手厚い指導であった 逆に大人数の中で意見を言う経験、アピールする経験も必要と感じた Q.: 集団との関わり就職先でも必要であるが、集団での取組はあるか →A. (G.L): 少子化、人工内耳の技術の発達、共生社会の考え方等により学校内だけでは集団における指導は難しい状況にある</p>
--	--

	<p>集団の中に身を置くという場として、共同及び交流学习により居住地の学校に希望により交流できる機会を設けている</p> <p>【委員】心温まる心通った授業で、きめ細かい教育が行われていた パトライトの数が少ないように感じた ロータリークラブの活動紹介 年1回(2/1)デフの映画の上映を行う予定で、一般参加も可で進めている 校長から全ロータリークラブに聾啞の現状について説明していただき理解が深まった</p> <p>【委員】図書室が充実している。ぜひ文章力の向上に活用していただきたい 平塚市障害福祉プランのパブリックコメントに御協力いただきたい</p> <p>【委員】大原小学校の学校評議会にも参加したところだが、今後大原小学校・盲学校・ろう学校の交流を再開したいと考えている 和太鼓について、今年はビデオ紹介という形で町内会行事に参加していただいた 大原祭りでの生演奏がコロナで中止になってから5年経った 来年は生演奏を開催する方向で進めたい。そのため町内会として学校に協力していく</p> <p>【委員】(初めて学校見学をして)今までの「学校」という観念が変わった 丁寧な学習活動であった 子供達が楽しそうに授業を受けていてとても良いと思った 楽しく授業、生活できることは将来の人間性に良い影響を与えると思う</p> <p>【委員長】授業見学に対する委員の意見にもあるように、平塚ろう学校は、社会に開かれた教育課程を実践していると感じた</p> <p>【委員】全国手話研修センターの中で、(大人が)子供同士の話が分からないという課題があるが、先生方の中にその様な課題はあるだろうか ろう者同士の子供達の会話は、聴者には分からない(読み取れない)ことがあるのでは →A.(G.L):授業中はそういう場面は多いし、子供同士の手話は、速くて省略されている事もあるので聴者の教員には理解が難しい(先生に知られたくない内容と推察する) 授業内容に関わること(質問に対する答え等)は、再度手話をやってもらい、子供達も分かりやすいように手話をしてくれる等により授業自体は成立している聴者の教員は、本校に配属されて初めて手話を学ぶため、皆日々苦戦している</p> <p>【校長】学校見学や平ろう祭の後ということもあり、様々なご意見を伺えた平ろう祭でのベルマーレと繋がった活動も、この協議会のおかげである 小人数でのきめ細かな指導と併せて集団の中での指導についても取り組んでいる</p>
--	--

今回の協議会もとても良い機会が持てたと思っており、今後もよろしくお願ひしたい

PTAから本協議会の内容について知りたいという声があったので、PTAの場でも紹介した

※デフサップの国際大会の日程確認 →令和7年11月9日

5 事務連絡

【副校長】次回、第3回学校運営協議会は、令和7年2月25日に設定している 日程変更が厳しい時期でもあるため、日程調整にご協力いただきたい